



いるか組クラスだより

平成30年

11月15日発行

大嶺 彩未



涼しい風が吹き始め、過ごしやすい季節になってきましたね。
「まつぼっくりや落ち葉を拾ったよ」という子どもたちの声から、小さな秋の訪れを感じるようになりました。

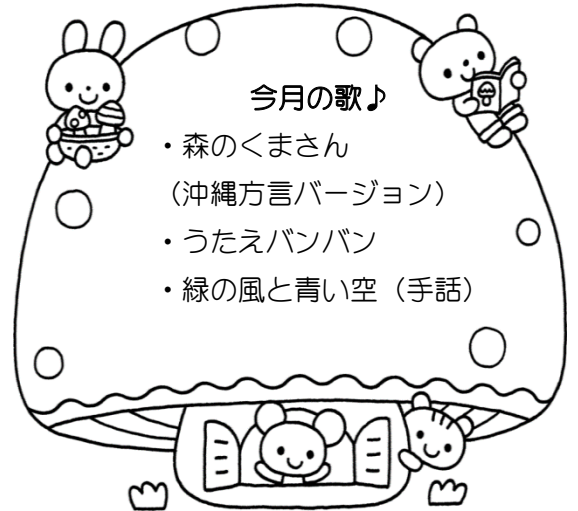
さて、最近では《保育園最後の発表会》に向けて、一生懸命練習に励んでいる子どもたちです。体調管理に気を付けながら、早寝・早起きで生活リズムをしっかり整えていきたいですね。

◆キラリチーム◆

何かを調べてみよう！という気持ちが育ってきている子どもたち。夏の台風で枯れてしまった畑に、何かを植えようと提案し、何を育てるかは子どもたちと相談してみることにしました。「りんご」「柿」「メロン」の声があり、‘木だから何年もかかるな～’と言いたいのをグッと我慢し、どうやって育てるのか、また秋から冬にかけて育つものを調べてみようということになりました。次の日、お母さんと調べてきたと紙に沢山の野菜を書いてきていましたよ。その子を見てまた次の日に‘自分も調べてきた’とメモを出し、冬に美味しい食べ物（おでん、すき焼きなど）を見せてくれました。子どもたち同士の会話に聞き耳を立てていると「どんなして調べた？」「OKグーグルで調べたよ」と聞こえてきましたよ（笑）大人が何かを教えるのは簡単ですが、子どもたちの「知りたい」という気持ちに寄り添いながら調べることで大きな学びになることを子どもたちの姿から教えてもらいました。

◇なごみチーム◇

先日、サッカーをするために公園へ向かう途中で子どもたちの会話です。手を繋いでいた子に「〇〇さん、今日はイライラするなよ。負けても次、頑張ればいいんだよ。頑張ることが大事だよ。」と熱く語っていたお友達がいました。「大丈夫！〇〇は勉強頑張っているから」と相手の子には、これからあるサッカーの話ということとうまく伝わっておらず、思わず笑ってしまいましたが、この言葉かけに保育士も嬉しい気持ちになりました。最近、クラスの中でも発表会練習の時に「一緒に頑張ろう」「やればできるよ」とプラスな言葉も少しずつ聞かれるようになってきました。友達を思いやる気持ちや一緒に頑張ろうという気持ちがそこからもっと育っていけばいいな、と思います。

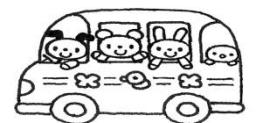


今月の歌♪

- ・森のくまさん
(沖縄方言バージョン)
- ・うたえバンバン
- ・緑の風と青い空 (手話)

路線バスで市民図書館へ

路線バスに乗って、市民図書館の、
～おもしろ絵本展～を見に行きました。
路線バスや図書館という公共の施設や乗り物では、他の人がいるから静かにするという約束を学びながら、絵本展では絵本の面白さに触れる、良い経験が出来ました。



暑さがやわらいできたので、
毎週火曜日(14:30~15:15)の
サッカーは、のだけ公園で行っています。
水筒、帽子は必ず持たせてくださいね。



裏面にもあります！



おたんじょうびおめでとう



6歳おめでとう!



〇〇〇〇〇〇さん

☆自分の好きなのは、ほっぺ!
★得意なことは、跳び箱です!
☆大きくなったら、保育園の先生になりたい!

〇〇〇〇〇〇さん

☆自分の好きなのは、目!
★得意なことは、ラキューです!
☆大きくなったら、マンガ家・絵本を描く人になりたい!

〇〇〇〇〇〇さん

☆自分の好きなのは、耳たぶ!
★得意なことは、縄跳びです!
☆大きくなったら、博物館（昆虫展）で働きたい!

＊お誕生日会で、誕生児の大好きなところをクラスの皆にインタビューをしてみると始めは「顔!」「洋服!」と答えていましたが、保育士が「友達思いの優しいところ」と言うと、その後は「笑顔なところ」や「一緒にままごと遊びをしてくれるところ」など友達の良いところを探すのが上手になっていましたよ。言われた本人は「照れちゃう～」と恥ずかしそうにしていました。

楽しかったハロウィンごっこ

10月31日いるか組を中心にハロウィンごっこを行いました。最初は去年も迷路をやったから今年も迷路をやるとあっさり決まってしまいました。しかし、もう一度「ハロウィン」にちなんだ絵本を読んだりして「ハロウィンって何をする日?」と、もう一度話をもちかけ、「自分たちはどうしたいのか」「どんなハロウィンごっこだったらみんなが楽しめるのか」と問いかけながら意見を出し合いました。絵本のようにお家（自分たちで段ボールで作って）にみんなを呼ぼう、ということに決まりました。それぞれのグループに分かれ取り組み始めましたが自分たちがイメージしている形にすることが難しく四苦八苦。段ボールが上手く立たずに、パタンと倒れてもう一度やり直し。偶然、箱の段ボールが支えになり立った際に、「これは学びに繋がる」と思ったら、「先生が隠れて後ろから支えているんだよ（しかもお休みの先生）」との声に思わず大笑いしてしまいました。そして1週間かけてそれぞれ個性が表れた段ボールハウスが完成し、とても嬉しそうでしたよ。子ども達なりに友達と力を合わせて1つの目標に向かう難しさや、楽しさ、達成感が感じられたと思います。

